

源照寺  奥沢3-26-7  
※mapも参照ください。

第1支部

奥沢3丁目 源照寺境内地に第1支部地域のお地蔵さまが、見守り地蔵尊としていらっしゃいます。平成8年に自由が丘(奥沢5丁目)から遷座。彫刻家、森大造氏の作品。手入れがされ、綺麗なお地蔵さまでした。源照寺は曹洞宗の寺院です。昭和11年より奥沢に所在していましたが、昭和23年現在地に移転。平成元年に本堂新築しました。白が映えるお寺さまです。



九品仏浄真寺  奥沢3-26-7  
※mapも参照ください。

第2支部

東急大井町線 九品仏駅の改札を左に出て歩くと、すぐに現れる立派な参道。その奥に広がるのが九品仏浄真寺。境内の3つのお堂にはとても大きな阿弥陀如来像が九品(九品)安置されており、それが駅名の由来となっています。創建当時の姿を今なお残すたたずまいは、まるで京都に在るような感覚すら覚えさせ、境内を彩る多くの木々は四季折々に景色を変え、参拝者の心を癒やしてくれます。



公益社団法人 玉川法人会  
1 and 2 支部合同新聞



支部長あいさつ

地域の新聞 - 創刊

公益社団法人  
玉川法人会第1・2支部  
奥沢・東玉川・玉川田園調布地区  
2022年7月 創刊号

第1支部 支部長  
森 功一郎



 公益社団法人 玉川法人会

昨年4月より第一支部の支部長を仰せつかりました(有)森美建設の森 功一郎と申します。  
東玉川で増改築リフォーム等一般建築の会社をしております。  
皆様にはコロナ感染拡大の影響の為ご事業継続に大変苦労されていると思います。  
公益社団法人玉川法人会では、研修会や異業種交流などの活動を行ってまいりました。  
しかし、ここ2年間イベントが催せず非接触型コミュニケーション、WEBの活用発展はあったと思います。玉川地区奥沢、東玉川管轄の第一支部では、地域密着で最新税知識の向上だけではなく、会社トップ同士や飲食などお店経営の方の交流に力を入れ地域を盛り上げることと共にコロナに負けない事業を行えるサポートを心がけております。  
この度支部新聞として会員の皆様の地域での繋がりを深め地域の皆様に身近な会社や企業のご紹介をしていきたいと思っております。  
ご事業の発展にお役立て頂ければと思っております。

第2支部 支部長  
出澤 素賀子



 公益社団法人 玉川法人会

皆様へ  
皆さま、お元気でいらっしゃいますか?  
第二支部支部長歴6年目の出澤 素賀子(でざわ すがこ)です。  
令和2年1月から世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、感染防止対策としての緊急事態宣言、蔓延防止策の発令が度重なり、社会活動・経済活動に多大な影響を受けました。法人会においても昨年度は予定していた多くの活動が中止に追い込まれ、会員のリアル交流の場も激減し、とても寂しく思っております。  
そのような状況下で会員の皆様の声をお聞きしたところ、「知り合いの方が同じ法人会の会員であったことを知りませんでした。誰が会員なのか手元に会員名簿があると助かります。」「会員の皆様のこと、税のこと、活動内容などの報告がWebホームページからではなく、定期的に届くとありがたいです。」などのご意見を頂きました。  
そこで、この度、会員の皆様とのコミュニケーションの場として、アナログ媒体での新聞を年2回、お届けすることを企画いたしました。  
この新聞によって、これまで以上に会員同士の輪が広がり、さまざまな情報がお役に立つことを期待し発刊いたします。ご一読いただければ幸いです。

第1支部



創刊号として、3か月前から準備をしてきました。法人会に加入してはいるが、どんなことをやっているのか全く知らない方々も、これから検討して下さる方々をはじめ、コミュニケーションを図る最初の入り口として法人会とは何?第1支部はどこ?など初歩的な疑問を解消できたら、と考えこのような発行物を作るに至りました。この新聞をきっかけに、活動に理解と参加をしていただけたら幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。一方的ではなく相互的に情報を共有できたらと考えメールアドレスを作りました。お問い合わせ等ありましたらお気軽にご活用ください。

第1支部:tamagawa.1.shibu@gmail.com

第2支部



お問合せ用メールアドレスを作りました! 皆さまからのお問合せなど、お気軽にご連絡をいただける用の、メールアドレスです。本号に掲載の会員様の事業所名や住所などに、万が一記載間違いなどがございましたら、お手数ですが、こちらまでご一報お願いいたします。また、今後住所変更などがありました際にも、こちらのメールアドレス宛にお知らせいただけますようお願いいたします。今後とも、よろしくお願いいたします。

第2支部:tamagawa2shibu@gmail.com

## インボイス制度について *Check!*

インボイス制度が、**2023年(令和5年)10月1日から開始**されます。  
 2023年(令和5年)10月1日から登録を受けるためには、原則として**2023年(令和5年)3月31日までに登録が必要**です。既に、2021年(令和3年)10月1日から申請手続きは可能です。  
**インボイス制度とは**、登録を受けた課税事業者のみが、法的効力のある「**インボイス(適格請求書)**」を発行できるという新しい制度です。正式名称は、「適格請求書等保存方式」といいます。インボイス(適格請求書)とは、誰が、いつ何を、合計いくらで販売しその中で税率は何%で消費税はいくらだったのかを表示するものです。お得意先では、このインボイスを保存することにより仕入税額控除ができることになります。  
 申請先は納税地を所轄する税務署長です。登録用紙は国税庁のWebサイトからダウンロードできます。また、e-Taxでも提出が可能です。

税務署の審査後、適格請求書発行事業者として登録されると「登録通知書」が送付されます。

既に法人番号が付されている事業者

それ以外の事業者

**【T+法人番号】**

**【T+13桁の数字の固有番号】**

番号発行を受け **適格請求書発行事業者として登録** が完了

**適格請求書**は以下の6つの記載事項が必要です。

- ① 適格請求書発行事業者の氏名又は名称及び登録番号(T+13桁の法人番号あるいは13桁の数字)
- ② 取引年月日
- ③ 取引内容(軽減税率の対象品目である旨)
- ④ 税率ごとに区分して合計した対価の額(税抜き又は税込み)及び適用税率
- ⑤ 消費税額等(端数処理は一請求書当たり、税率ごとに1回ずつ)
- ⑥ 書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称



**インボイス制度導入の目的は、**

取引の正確な消費税額と消費税率を把握することです。**インボイスとは**、売り手が買い手に対して、適用税率や消費税額等を正確に伝えるものです。売り手が買い手に「適用税率や消費税額等を正確に伝えられない」と「仕入税額控除が行えない」こととなります。

▷ **インボイス制度によって考えられる影響があります。**

インボイスが交付されない取引では、課税事業者は免税事業者との取引で支払った消費税について、仕入税額控除を受けられなくなってしまいます。お得意先の課税事業者が損することになるため、免税事業者は課税事業者から取引を断られる可能性があります。

**続きは次号。**インボイス制度について次号でもさらに説明する予定です。次号をお楽しみに！

■ 国税庁HPに制度の特設サイトにて各種情報(Q&Aや解説動画など)が掲載されています。

玉川税務署入り口にも資料ございます。「適格請求書等保存方式の概要 —インボイス制度の理解のために—」



国税庁  
特設サイト



参考資料

## 第1支部 | 奥沢1・2・3丁目、東玉川1・2丁目、区域の皆様 参加ください

※非会員でも参加できる行事もございます。

### 注目活動

未定	世界を巡るワイン研究会	実に2年ぶりなので、すべての事業が注目の活動とっております。
4月22日	役員会(1/4回)	
7月28日	もっと知りたい地域の歴史(1,2支部共催)	
08月	役員会(2/4回)	会員のための交流会は、「インボイス制度について」のミニ研修会を予定しています。
09月	女性部交流会	
10月	会員のための交流会	もっと知りたい地域の歴史は、1,2支部共催のロングセラーイベントで、今年で、5年目になります。どうぞお気軽に、ご参加ください。
10月26日	バス探訪ツアー(1,2支部共催)	
10月12日	ゴルフ大会(1,2,3支部共催)	
11月	役員会(3/4回)	
11月	もっと知りたい地域の歴史(1,2支部共催)	
12月	忘年会	
02月	役員会(4/4回)	

## 第2支部 | 奥沢4・5・6・7・8丁目、玉川田園調布1・2丁目、区域の皆様 参加ください

※非会員でも参加できる行事もございます。

### 注目活動

未定	世界を巡るワイン研究会	実に2年ぶりなので、すべての事業が注目の活動とっております。
4月22日	役員会(1/4回)	
7月28日	もっと知りたい地域の歴史(1,2支部共催)	
08月	役員会(2/4回)	会員のための交流会は、「インボイス制度について」のミニ研修会を予定しています。
09月	女性部交流会	
10月	会員のための交流会	もっと知りたい地域の歴史は、1,2支部共催のロングセラーイベントで、今年で、5年目になります。どうぞお気軽に、ご参加ください。
10月26日	バス探訪ツアー(1,2支部共催)	
10月12日	ゴルフ大会(1,2,3支部共催)	
11月	役員会(3/4回)	
11月	もっと知りたい地域の歴史(1,2支部共催)	
12月	忘年会	
02月	役員会(4/4回)	



## 第1支部 会員紹介

株式会社 山崎産業 代表取締役 山崎武一郎



株式会社 山崎産業  
住所/世田谷区東玉川1-36-10  
電話/3727-2830

奥沢小学校の斜め前、あと2期で50周年を迎える株式会社 山崎産業の山崎さんは、公共と民間の電気工事を中心に協力会社と一緒に連携し各種リフォームや内装も手掛けています。こだわりは「高品質・施工スピード・低コスト」をご提供できることを常に目指していること。また地域社会に貢献できるよう、毎朝の事務所まわりの掃除、廃品回収の場所提供なども行います。

2代目の社長（現在は取締役）の思いで、「速さの追求」で効率よく儲けるではなく、「丁寧さにこだわることで、結果として作業の速さが身に着く」で効率を上げるという方針を受け継いでおられます。「あくまでも「丁寧」を追求することで、結果として施工スピードをアップさせると同時に、お客様にご納得の行ける施工品質管理を行っております。」と山崎さん。

「低コスト」。電気施工は外部協力会社に頼む会社をインターネットで検索すると数多く存在しますが、しかし山崎産業さんでは、基本的には管理から施工までを全て行うことを基本とし、(ちなみにですが管理及び施工部隊は15名前後います。)余計なマージン無くし、結果としてお客様に低コストでご提供ができるというのが最大の強みと話します。

山崎さんが奥沢小学校の4年生の時、以前は、街の電気店(パナソニック系列の店舗)でしたが、先代のお父様が電気工事店に様変わり。大量仕入れによる資本理論で街の電気店が倒産する中のシフトチェンジを敢行なさいました。

現代社会の凄まじい技術革新が進む中、中でも「カーボンニュートラル」というワードが昨今話題となっています。つまり電気自動車の時代がいつかやってくると山崎さんは話してくださいました。もちろん水素自動車も普及する可能性もあります。また日本のような島国で電気を作るのに火力なしでどうするかという問題もあります。とはいえ、長期的視点で検討したときに、世界の潮流を考えると、残念ながら電気自動車の割合は増えざるを得ないと分析。

そこで先代と同様な動きとして、新しい電気向けの商品をご提案するとともに設置できるようにしていきたいと意欲を燃やしています。例えば電気自動車に向けた様々な道具となる「太陽光パネル・蓄電池・V2H(ビークルtoホーム)・自動車への電源工事」などの商品のご提案と施工を考えておられます。事務所に簡単なショールームを夏までに作る予定。是非ご興味のある方がいらっしゃいましたらお声がけください。とのこと。ちなみに、写真は世田谷区から受注した砧地区や北沢地区で取り付けた電気自動車用の電源。これを増やしていきたいと張り切っておられました。

そんな山崎さんに、法人会のイメージをお聞きしますと、「オーナーカンパニーや中小企業の社長という、正直「頑固・わがまま」などのマイナスなイメージをどうしても持ってしまう。でも法人会の方はみなさん優しく、いろいろな話をしていただけるので大変楽しい。また自分は卒業してしまいましたが、法人会の青年部は年代も近く、本当にいろいろな業界の方とざっばらんに話ができて、いろいろと参考になりました。コロナでなかなか法人会の活動が思うように出来ませんが、これからも参加していきたいです。」とお話になりました。

第1支部については、会社がある東玉川に商店街はありません。小学生の時は奥沢駅の周りにはものすごく活気がありましたが、今では、随分とマンションが立ち並ぶような街に。そんな中、「今までお住まいの方だけでなく、新しくいらっしゃった方も心地よくできるように考えている支部です」と話してくださいました。



電気自動車用の電源

## 第2支部 会員紹介

株式会社 豊島工務店 代表取締役 豊島 潔



株式会社 豊島工務店  
住所/奥沢4-24-13  
電話/3720-1606



株式会社 豊島工務店さんは、昭和52年(1977)3月より創業。平成2年3月に株式会社となりました。世田谷区奥沢にご自身は住み続け、奥沢を仕事の拠点としています。豊島 潔さん(事業主)は、現在2代目。仕事だけでなく、長く住み続ける地元奥沢に貢献できればとも考える奥沢の職人さんです。主に木造住宅の新築・リフォームを中心に外装工事から小さな修繕まで、幅広く対応している豊島さん。介護保険工事についても対応しており、高齢者が多い世田谷区では、依頼の数も多いと話します。小さな木工品も、仕事の合間に製作し、店内で販売しています。地元奥沢に根差し、様々なお客様のご要望に出来るだけお応えできるようにと豊島さんは日々努力しているようでした。

株式会社 豊島工務店さんは、もともと大工だったお父さまが始めた工務店です。当時から豊島さん自身、お客様に寄り添った仕事をしているな、と感じていたそうです。仕事の広がりやのコツもお客様がお客様を紹介して下さることが多くあり、そのように感じていらっしゃったそうです。ご自身が立場を同じにして実際、大変なこともあります。できるだけ父の仕事に近づいていこうと目標を定めてお仕事に取り組んでおられます。

そのような心持ちでいる豊島さん、地元では通りがかりにちょっと声をかけてくださったり、地域の活動から、豊島工務店を知って依頼していただくこともあるとのこと。寄り添いを大切に仕事に取り組んでいます。社会的にインターネットが主流になり、今では豊島工務店さんでもホームページも立ち上げて、そこからの受注もありますが、寄り添いの中の対面での仕事の依頼は一際うれしいと話してください、ご自身なりにスタイルを確立しているようにも思えました。

豊島さんほど経験豊富な職人さんでも、困難な工事がある、ということ。しかし、「お客様と楽しくコミュニケーションを取れた時にはそのような困難などが、一気に吹っ飛び、反省するところは反省して、新たなやる気とパワーをもらうことができる」と話して下さいました。何事にも代え難い経験を多く得ている豊島さんの仕事に対する「自信」と仕事で得られる「楽しみ」というものをバランスよく得て人生を歩まれている、そんな感じを受けました。

豊島さんの今後の目標は、いつまでもこの状態を維持し続けること。常にそう思っていると話してくださいました。原状維持することの難しさを様々な経験から学んでいる豊島さんの謙虚さをより一層うかがうことが出来ました。

法人会についての印象は、とにかく、異業種の方と交友関係が増えることが一番で、知らない仕事の内容や思いを聞くのも勉強になるそう。「同業者の方も多くはいますが、自分自身がその時、知らない情報を持っている方とお会いし、お話できるのも魅力。」とか。また、「法人会の様々な活動を経てのお付き合いからお仕事をいただくこともあったり、助けてもらうこともあったりと、会社としても個人としても良い組織」と話して下さいました。

第2支部の印象については、交通の便もよく、商店も多くありますが、どちらかというと閑静な住宅地という環境。住宅地としての奥沢ですが、そこに熱い思いを持った人や、楽しい人が多いので、住んでいても仕事をしていても楽しい地域です。」と話してくださいました。

